2013エバーグリーン「平和をつくる旅」東日本大震災に学ぶ

エバーグリーン藤枝

◆目的

エバーグリーンも今年で10年目。無言館、平和ミュージアム、妙蔵寺、昨年の第五福竜丸記念館見学、釜山での交流など、平和をつくる旅も着々と積み重ねてきました。

今回は、南三陸の景勝地・東松島、マグロ漁業基地・石巻などの漁港、学校、街を襲った津波の被災地をフィールドワークし、東南海地震の生きた防災学習とします。また原発被災に立ち向かう福島の高校生や農業・漁業づくりの青年とも学習交流します。宿舎は、スポーツ遠征合宿用の恵まれた環境で、高知・静岡・福島の高校生が、学校生活や進路について率直に語り合い、楽しい交流も自主企画できます。福島の皆さんが参加しやすく、放射線量も低い石巻を中心に企画しました。

◆日程(旅程等の詳細は調整中です)

8月10(土)藤枝 6:47 発　10:09 仙台着　バスで 11:40 石巻着　幡多ゼミナールと合流　昼食
13:00~17:00 震災フィールドワーク　宿舎へ移動　夕食　交流会
11(日)　9:00~12:00 福島の被災実態に学ぶ(高校教員、高校生、農業・漁業青年など)昼食
13:00~17:00 学生・社会人座談会　夕食　交流会
12(月)　宿舎(バス)　利府 10:35 発　福島県被災地見学
福島県の方が案内してくれます
A案:　利府町→相馬市→南相馬市→小高区〔希望の牧場〕→浪江町請戸〔請戸小〕
→飯舘村・川俣町経由→17:00 ころ福島駅着→　20:37 藤枝駅着
B 案:　利府町→仙台→福島駅
→福島大学「うつくしま　ふくしま　未来支援センター」等
→17:00 ころ福島駅着→　20:37 藤枝駅着

◆宿泊:グランディ・21　宮城県総合運動公園合宿所
〒981-0122　宮城郡利府町菅谷字舘 40-1
☎022-356-1122　Fax022-356-1123

◆参加費　交通費往復約３７０００円、宿泊費２泊約６０００円
(繰越金とカンパで、負担は1万5千円 以内にしたいと思います。)

◆参加人数　10人程度

◆申し込み　保護者と相談してください。
参加承諾書の提出締め切りは、7月20日(土)です。

◆主催　幡多高校生ゼミナール・エバーグリーン藤枝
連絡先　橋本　純　〒426-0084　藤枝市寺島 906-11
電話　054-644-8611　携帯　09018644887
メールアドレス　hashijun@xf7.so-net.ne.jp

参考資料　福島の斉藤先生から

視察地の問題
現在は、第一原発の北側ならば、浪江町と双葉町の海岸沿いまで入れます。
山側は線量が高いのですが、海側は低いのです。
私も、先日の山下先生と一緒に浪江町請戸まで入りました。
校舎2階の黒板の下まで津波が上がった請戸小学校に入ってきました。
手つかずの状態で残っていますので、津波直後のまま2年3か月が経過した状態です。
南相馬市小高区の吉沢牧場（希望の牧場）は浪江町との山側の境界にあります。
殺処分が押し付けられた牛を何百頭も生かし続けている牧場で、
ここも見たほうがよいと思います。
あとは、仮設住宅を回って被災者からお話を聞くこともできるかと思います。
また、相馬の漁協青年部（尾浜・原釜地区）から漁場の話、農民連から農業の話を聞くこともできます。
被災者や漁業者・農業者からの聞き取り・懇談を入れるのであれば時間がもっと必要ですが、
手つかずの被災地を見て回るのであれば、夕方5時前に福島駅に着くように回ることはできます。
何を、どの程度したいのかをお伝えいただけると、現地のコーディネーター（新妻さん）に繋ぎやすいです。

案内者のこと
現在、福島県立高教組の退職者で新妻慎一さんが案内のまとめ役をされています。
この先生のネットワークで、手配が行われています。

一番肝心なこと
入る入らないについては、福島の側から「入りなさい
とは言えないので、静岡の方でご相談いただいてご判断ください。
当然住んではいけないとされ、日中しか立ち入りできない場所には、高校生は住んでいません。
その周辺の地域の仮設住宅や借り上げ住宅に住んでいると思います。
相馬市や南相馬市鹿島（市の北部）やいわき市、そして中通りの福島市・二本松市・郡山市などに住んでいます。
原発から北西方角の山間部、飯館村や川俣町の山木屋地区は線量がまだ高いです。
飯館村は止まって線量を測るとか、村役場や移転した高校分校を見るとか、基本的には短時間の滞在で通過するだけですから、その時間の被ばくを避けたいのであれば、その地域には入らない方がよいです。
これは突き詰めていくと、福島市でさえも全国的には高めの線量なのですから、来ないほうがよいということになります。
　いま現在の福島北高校の社会準備室は、0.11μSv/hです。福島市内でも大概は0.2～0.3μぐらいのはずです。もちろん高いところはその例ではありません。
福島県内の高線量の場所は別な話ですが、一般的には宮城県でも関東地方でもそうは変わりません。
線量計の精度・感度もあるでしょうが、福島ということで被ばくや線量が気になるという生徒や、気になる保護者の生徒は連れてこない方がよいかもしれません。mSvならば短時間でも問題でしょうが、短時間のμSvですから納得や覚悟の問題です。よく話し合われて、心配な生徒は来ない方がよいと思います。